

福井県文書館(1/2)

文書館は 福井の歴史とあなたをつなぐ かけ橋となります



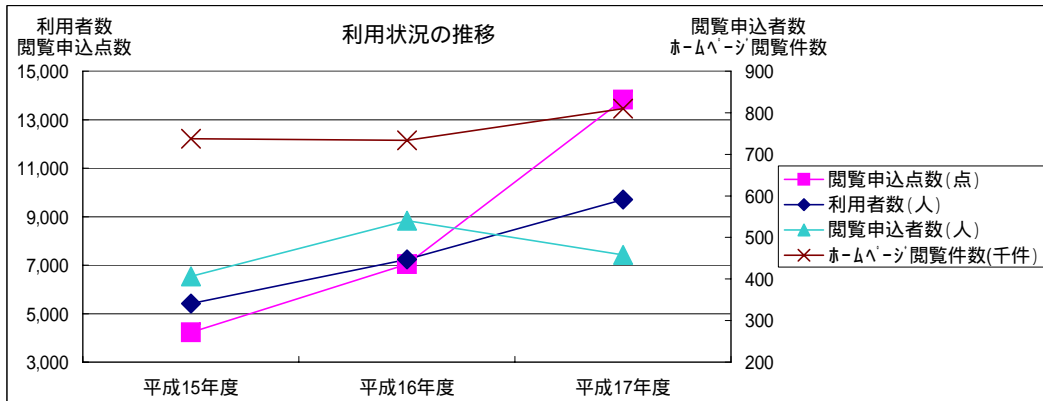
所在地	福井市下馬町51-11		
設置年月日	平成15年2月1日		
施設の種類	文書館	施設管理主体	県
設置の目的	県民共有の歴史的文化遺産である貴重な歴史的公文書その他の記録資料を円滑に収集保存し、これに関する研究を行い、広く一般に公開して閲覧利用に供するとともに、県民の歴史探求、生涯学習を支援するために普及啓発を行う。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造、地上2階、延床面積3,119㎡ 収蔵冊数 歴史的公文書2万9千冊、古文書複製本2万9千冊、行政資料1万700点(H18.3現在)		
職員数	職員6人 非常勤嘱託5人 アルバイト2人 計13人		

利用状況等

	平成15年度	平成16年度	平成17年度
利用者数(人)	5,417	7,242	9,703
閲覧申込点数(点)	4,227	7,045	13,819
閲覧申込者数(人)	406	540	458
ホームページ閲覧件数	737,160	733,759	810,067

利用者負担(利用料金)等

施設使用料	研修室(全日)	6,600円
複写手数料	白黒	10円
	カラー	80円



利用状況の推移
平成15年2月の開館以来、毎年利用者は増加しており、平成17年度は前年度比134%の9,703人の利用がありました。
古文書を理解するための各種講座や講演会も参加希望が多く、開催回数を増やしたほか、県史に関する特別講座や古文書相談会など新しい企画も実施し、講座等の年間参加人数は前年度比171%の831人に達しました。
文書館のホームページから所蔵資料の検索や刊行物の閲覧が可能で、ホームページ閲覧件数も前年度比110%の約81万件(1日平均2,200件以上)に達しております。

平成17年度の特徴について

事業実績	<p>講座・講演会等への県民ニーズの増加や有識者からの助言を踏まえ、開催回数を増やし、内容の充実を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 古文書入門講座(計2回) 108人、古文書初級講座(新)(計2回) 85人(新)=新企画 古文書読解講座(計3回) 101人 資料保存研修会「災害から資料を守る」 42人 古文書相談会「よみます。古文書」(新) 15人 特別県史講座「由利公正と坂本龍馬」(新) 116人 県史講座「白山への参詣道」 110人、「古代武生盆地が担った国家的役割」 59人 講演会「泰澄と白山信仰」 188人、文書館探検隊(新) 7人 計831人 <p>公文書8,555件(前年度からの増加率131%)、古文書11,420件(同109%)、他の類似施設の研究紀要、年報等の刊行物875冊(同109%)を新たに公開しました。</p> <p>古文書読解講座の参加者に呼びかけて読解グループを結成し、毎月1回古文書の勉強会を開催しました(新)。</p> <p>企画展示「白山紀行 - ふくいからの参詣記録」を平成18年2月1日から1年間開催しており、2月には職員による展示説明会も開催しました(新)。また、3月には昭和の豪雪を懐かしい写真でふりかえる「38豪雪・56豪雪写真展」を開催し、多くの方にご来館いただきました(新)。</p> <p>学校教育との連携を図り、児童・生徒向けの各種事業を実施しました。 インターシップ受入(7人) 県立高校日本史科目での出張授業(新)(80人) 県内全中学校(83校)への「文書館新聞」の配布(新) 文書館探検隊(新)(7人)</p>
------	---

講座・講演会等の実施

古文書入門講座や講演会などの各種行事は毎回参加希望が多く、計831名の方に参加いただきました。

特に、2月の講演会「泰澄と白山信仰」は188名の方に参加いただき、定員を超えるほどの盛況でした。

講演会の様子



出版物等

平成17年度は以下の出版物等を発行しました。

* 文書館のホームページ(トップページ 出版物等)からもご覧になれます。

- 『福井県文書館年報 第2号』(平成17年7月)
- 『福井県文書館研究紀要 第3号』(平成18年3月)
- 『文書館だより』第6・7号(平成17年9月、18年3月)
- 『文書館新聞』(平成17年7月)



出張授業の開催

7月に県立高校で、江戸時代の本物の古文書を使って授業を行いました。教科書で習った宗門帳帳などの実際の郷土資料を見た生徒たちからは「本物を見て実感がわいた」、「さらに歴史に興味がわいた」などの感想が寄せられ、古文書の理解や関心を高める上で効果的な授業となりました。

出張授業の様子



福井県文書館(2/2)

行政コスト計算書(平成17年度) (単位 千円)

		総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	69,107	47.3%	97.1%
	退職給与引当金繰入	180	0.1%	-
	計	69,287	47.4%	99.7%
物にかかるコスト	物件費	47,669	32.6%	95.6%
	維持補修費	433	0.3%	37.2%
	減価償却費	13,491	9.2%	100.0%
	計	61,593	42.1%	95.5%
その他	公債費(利子)	15,246	10.5%	96.6%
	その他	0	0.0%	-
	計	15,246	10.5%	96.6%
合計		146,126	100.0%	97.6%

バランスシート(平成18年3月31日現在) (単位 千円)

借方			貸方		
資産		前年比	負債		前年比
有形固定資産	605,578	98%	固定負債	1,185,209	94%
投資等	0	-	流動負債	79,243	131%
流動資産	0	-	正味資産	658,874	93%
計	605,578	98%	計	605,578	98%



企画展(閲覧室)

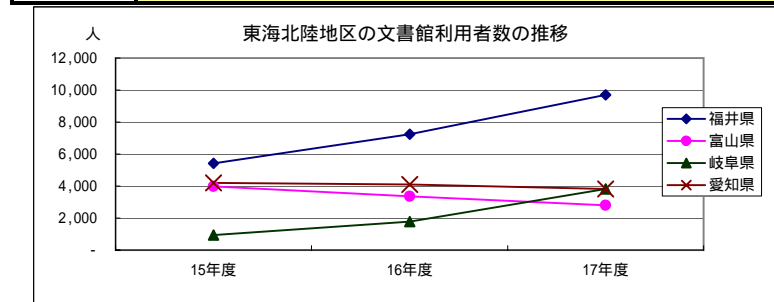
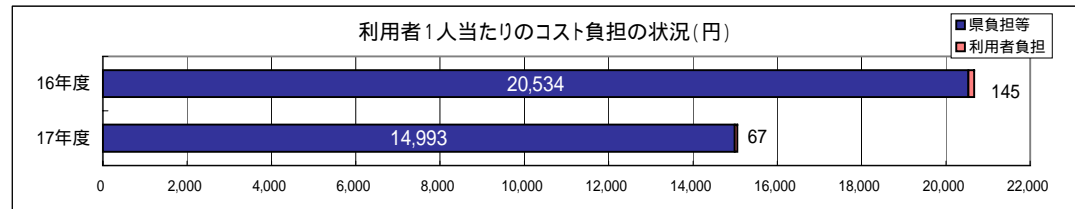
施設の特徴
 文書館は、福井県の歴史に関する重要な公文書や古文書などを収集、保存し、県民に閲覧していただくための施設です。ホームページでは、資料検索や刊行物の閲覧もでき、古文書や県史などの様々な情報から福井の歴史を簡単に調べることができるなど、歴史の継承、文化の発展に寄与しています。また、講座や講演会などの行事を積極的に開催して、県民の生涯学習活動も支援しています。

今後の課題
 多様な県民ニーズに対応するとともに、文書館の認知度を高め、より多くの県民に利用していただくことが課題です。歴史的な文書に関心のある方、児童・生徒、併設の図書館利用者などの各利用者層に合わせた事業に取り組み、利用促進に努めます。

収入 (単位 千円)

				(前年比)
収入	利用料等収入	649	0.4%	61.7%
	その他収入	1,014	0.7%	94.5%
	一般財源	144,463	98.9%	97.9%

利用料等収入計	649,000 円	61.7%
利用者1人あたり平均利用料	67 円	46.2%
利用者1人あたりコスト	15,060 円	72.8%



バランスシート、行政コスト計算書の特徴
 県の貴重な歴史資料を永く後世に伝えるためには、膨大な資料の整理と適切な保存環境の維持が不可欠であり、そのための人件費と物件費にコストがかかっています。古文書や公文書という特殊な資料を収集・保存し、閲覧利用に供するという施設の性質上、利用者の範囲がある程度限定されるため、利用者1人あたりのコストは他の施設に比べ、高くなる傾向にあります。



古文書：吉川充雄家文書(寄贈資料)



公文書：昭和40年9月西谷村災害関係綴

今後の事業方針
 歴史の継承、文化の発展に寄与するため、文書館の認知度を高め、より多くの県民に利用していただけるよう、以下の方針に沿って運営します。

- ・歴史資料の収集と調査研究活動
- ・歴史的な文書の保存と公開
- ・歴史的な文書の閲覧と利用
- ・文書館事業の広報と普及啓発

主な取組み事業

- ・文書館収蔵資料の特別企画展(年2回程度)
- ・他の施設との共同企画展
- ・文書館収蔵資料展示の開催(毎月展示替え)
- ・出張古文書講座の開催(嶺南)
- ・古文書入門講座の充実
- ・出張授業の充実(高校)
- ・館のPR紙「文書館新聞」の配布(県内全中学校)
- ・インターンシップの受入(中学・高校・大学)
- ・古文書相談会の実施

取組み内容